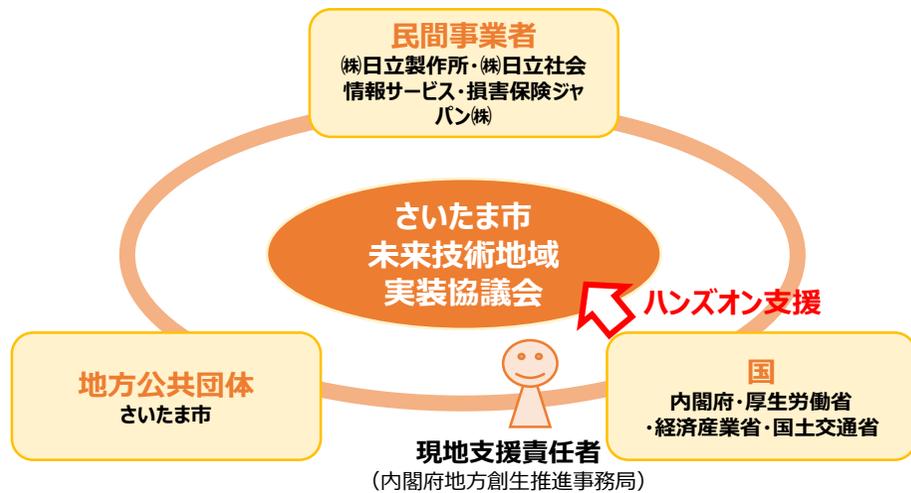


課題

- 感染症の流行による経済損失や社会保障費増の抑制

⇒「感染症は予報をもとに予防していく」という
新しいライフスタイルにより市民QOL向上、市民満足度向上

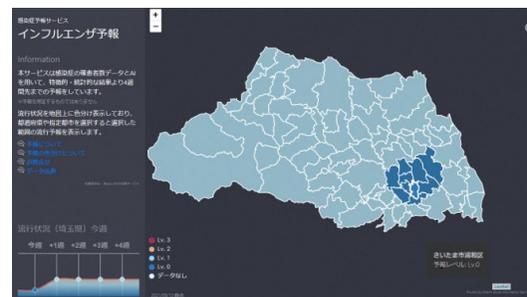
推進体制



課題解決に向けた取組

流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」

- 流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」
- 「日本医師会ORCA管理機構」の**罹患者数統計データ**と日立的**AI技術**の知見を活用した機械学習を用いた予測エンジンによる、インフルエンザ等の**感染症の流行状況の予報を行うシステム**
- さいたま市の公式LINEから、流行予測と併せて予防関連情報も配信し、**感染症予防のための行動変容を促す**(ナッジ)
- 将来的には、インフルエンザ以外の感染症への対応も予定
- **感染症予報と連動したMaaSなど、産業分野を横断した新たなサービスの実現を目指す**



令和3年度実証画面（予報範囲：埼玉県全域）



さいたま市の公式LINEより配信画面

2021年度の
主な取組

- 令和元・2年度に引き続き、インフルエンザ予報サービスの実証を実施し、予報情報配信の有用性等を確認

取組内容

インフルエンザ予報サービス実証 (2021年11月29日～2022年3月25日)

- 令和元年度および令和2年度においてインフルエンザ予報サービスの実証を実施
 - ・令和2年度の実証終了後に行ったアンケートにおいて、**66.4%の方から流行予報の継続配信希望**の回答
 - ・多くの方から、予報配信を受けて感染症予防を意識した行動につながったとの回答
 - ・予報配信によって感染症予防のための**行動変容を促す**ことが期待できるアンケート結果となった
- 上記アンケートの結果などを踏まえ、令和3年度も**インフルエンザ予報の実証**を実施
- 令和3年度の実証の特徴
 - ・(株)日立製作所、(株)日立社会情報サービスの構築したシステムにより予測した感染予測情報について、**市公式LINEアカウントなどにより市民等への情報配信**を行う。
 - ・昨年度の実証参加者へのアンケート回答において、市域外の予報情報についても配信希望があったことを踏まえ、今年度は、**埼玉県の協力**も受け、専用ホームページでの予報情報配信の**対象エリアを埼玉県全域に拡大**

「インフルエンザ予報」認知後の行動変容：
n=396名 (インフルエンザ予報を知っている人)

行動変容結果トップ3 (複数回答あり)

1位：手洗いうがい 60.9% 2位：マスクの着用 52.1% 3位：予防接種 35.6%

感染症予報サービス (インフルエンザ予報)

市民がインフルエンザ情報を入力する場合

従来の既存コンテンツ

感染者数の週報、予防情報、基礎知識などのリンク集。

「インフルエンザ予報」情報配信意向：
n=396名 (インフルエンザ予報を知っている人)

継続配信希望は**66.4%**

数字で見る結果
インフルエンザ情報は“過去”より“これから”が重要

令和2年度アンケート結果概要
(行動変容・配信継続希望)

予報対象エリアを埼玉県全域に拡大

https://area.sicknews2020.com/saitama.html

AI × ビッグデータ解析

インフルエンザ予報

埼玉県全域のインフルエンザ流行予報をお知らせするサービスです。

OK!!

感染症の週報、予防情報、基礎知識などのリンク集。

「感染症予報サービス」に関するお問い合わせフォームよりお問い合わせください。